

加西市都市計画マスタープラン 「第2回 地域まちづくりワークショップ」

1 日時：令和4年9月27日（火）19:00～21:00頃

2 場所：加西市民会館 3階 小ホール

3 参加者：19名（A班・北条：5名、B班・加西：8名、C班・泉：6名）

4 スケジュール：

時間	内容
19:00～19:05	1. 開催あいさつ
19:05～19:20	2. 全体説明 ・まちづくりワークショップについて ・第1回ワークショップの開催概要 ・本日の進め方
19:20～20:30	3. ワークショップの実施 ・前回意見への追加、提案の決定 ・地域の中で自分たちができること ・キャッチフレーズ
20:30～20:55	4. 全体発表と講評
20:55～21:00頃	5. 講評・閉会のあいさつ

5 配布資料：

- ・次第
- ・第1回ワークショップ結果
- ・ワークショップ説明用資料（第2回地域まちづくりワークショップ）
- ・ワークシート（机上）
- ・ワーク図面（机上）

6 ワークショップの概要：

市民 19 名が参加し、A 班・北条、B 班・加西、C 班・泉の 3 班に分かれて「地域まちづくりワークショップ」を開催した。

都市整備部・北川部長による開会あいさつ、事務局によるまちづくりワークショップの目的や結果の都市計画マスタープランへの反映箇所と 8 月 30 日に開催した「第 1 回地域まちづくりワークショップ」についての報告、及び今回のワークショップの進め方の説明に引き続き、各班に分かれて次のステップでグループワークを行った。

ステップ①「地域の良いところ・改善すべきところ、地域をより良くするために/課題を解決するために」（追加）

第 1 回ワークショップでの意見を整理した机上のワークシート、図面に、追加の意見（地域の良いところ「青色の付箋」、改善すべきところ「赤色の付箋」、具体的に必要と思う施策や「こんなことが出来たら良い」と思う取組などを「緑色の付箋」）を貼付し、記入者がそれぞれの内容を発表した。

発表後、提案となる「緑色の付箋」について、その位置や影響する範囲を凡例に沿った色に分けて図面上に記した。

ステップ②「地域の中で自分たちができること」

ステップ①でまとめた提案を踏まえて、「地域の中で自分たちができること」を「黄色の付箋」に記入し、ワークシートに貼付した。

貼付後に記入者がそれぞれの内容を発表、グループで討議した。

ステップ③「地域を表すキャッチフレーズの決定（将来めざすまち）」

これまでの話し合いを踏まえ、地域のまちづくりを一言で表す「キャッチフレーズ」を考えて「黄色（濃）の付箋」に記入し、ワークシートに貼付した。

貼付後に記入者がそれぞれの内容を発表し、地域のまちづくりを表す「キャッチフレーズ」の案を決定した。

1 時間半程度、グループワークを行った後、各班での討議結果や、その結論に至ったプロセスなどについて、北条、泉、加西の順に全体発表した。

<まとめとフィードバック、全体統括>

発言者	内容
各班のまとめとフィードバック	
北条 発表者	<p>私たち北条は、「ふるさと新しき町 北条」というタイトルにしました。北条は、古き良き街並みがあったり、故郷ということで田舎の良さがあるといったことでまとめました。</p> <p>地域としては、太陽光とか地産地消を考えたときに、加西電力ということで、自分たちで太陽光から出たやつを加西市と市民で使っていこうじゃないかという、加西電力という話が出ました。</p> <p>草刈とかごみ拾いとかが自分たちができることとしての意見が出たんですけど、三世代でできることは何があるかと思ったときに、ゲーム形式でウォークラリーとか宝探しみたいな感じで、一緒に草刈とかごみ拾いをできるのではないかという中から、楽しく仲良いという意味で北条のテーマが出ました。</p> <p>「関わり合い・支えあい・地域愛」という感じに、私たちはまとめることができました。</p>
泉 発表者	<p>私たち泉校区では、新しい意見として地域の良いところで、インターチェンジが近くにあるということと、家の周りが田舎ということで顔見知りだということが良いところでした。地域をもっと良くするために、バスで直接、加古川に行けたり、バスを効率良く回すという意見と、オンデマンドでバスではなしに必要な時だけタクシーのように呼んで使うということも試みてはどうかという意見が出ました。</p> <p>後、消防団加入の負担を減らすということで、若い人の加入を促進、今、嫁とか親に反対して消防団に入らない人も多いので、加入を促進する方法があれば良いのではないかという意見も出ました。</p> <p>地域の改善したいところですけども、やはり山や田畑が荒れていて再整備が必要なのではないかということと、高速バスの本数が少ない、車以外の交通手段がない、道路の両側の草の処理で良い方法はないものかという、ちょっとネガティブな意見も結構、数が出てきました。</p> <p>地域の課題を改善するためにですが、まず貸したいと思う仕組み作りで、空き家問題が結構出てきてまして、泉地区に関しては新しい取り組みとして、空き家をどのように活用するかという話し合いが既に進められています。このような話し合いを他の地域でも進められたらと考えています。</p> <p>また、産業団地ができるんですけども、周辺道路が狭くて道路整備が進んでいないということで、北条から泉に入ってきて加西自動車学院の辺りに抜ける道が狭くて大型車が交差できない。下滝野市川線も狭く、普通に道路として大型車が交差することができないので、広げて欲しいという意見が出ました。</p> <p>後、地域の防災拠点としてどこを活用するかという意見で、備蓄倉庫を建てるという意見があったんですが、建てるよりも既存の小学校を活用して、不足している備蓄の資材を各小学校に蓄えていくようにしたらどうかという意見が出ました。</p>

	<p>地域の祭りの活性化をしていきたいという意見もあります。</p> <p>地域の中で自分たちができることですが、各村の中での空き家の情報を集めるなど、身近なところから話を聞いて情報収集をしていくという意見と、自発的にする人だけがすることになってしまい、結局は興味のない人はしないかもしれないということで、官主導でヒアリングをしてもらい、強制的にでも意見を吸い上げて全体的に広めていく必要があるという意見も出ました。</p> <p>地域のキャッチフレーズとして、やはり北の方には結構な自然があるので、自然豊かとか、子供の元気な声が聞こえる町、ふるさとらしいふるさと、産業団地ができることに関わって、ふるさとから未来へ動こうとしているということと、産業や自然観光、農業などすべてが揃っているということで、この辺の意見をまとめて、ふるさとの良いところを残しながら新しい都市の形を作っていく「ふるさと発展型都市 泉」という形で意見がまとまっています。</p>
--	--

加西 発表者	<p>旧加西町のチームの発表をします。話題性があるネタが多い地区です。例えば、鶴野飛行場近くの道の駅や、新中学校が加西インターと飯盛の交差点の間のどこかということで、それもこのエリアに入っています。中野が市街化区域で結構開発が進んでいくということで、ネタとしては困らない地区なのですが、今日、私たちの中で話したのは、どちらかという箱物というよりは、コミュニティの中身の話がメインになります。</p> <p>意見として出たのは、田舎のくせになかなか近隣とのコミュニケーションが取れていないとか、世代間交流が少なかったりとか、中学生高校生の地域との関わり方がちょっと薄いのではないかという、ソフト面というか、人に対しての課題の抽出がメインとなった話し合いでした。</p> <p>その中で、何ができるだろうというところで、道の駅や新中学校などのゼロから作る施設にも、地域にとの関わりや世代間交流ができるような要素を入れて欲しいということや、空き家や、新中学校ができることにより空白になる加西中学校の利活用、今あるものの利活用でもコミュニティを生み出せるようにしていきたい話し合いをしました。</p> <p>なので、テーマを決める所にも、付箋が非常にたくさんあることが特徴の一つで、これも一種の多様性かなと思います。外的要因というか、行政主導で変わっていく町ではあるが、変化を受け入れる受け身の姿勢だけではなくて、それをきっかけに自分たちも変わっていこうということで、ここには書いていないが、最終的には「チェンジ」の一言をテーマとする旧加西町ということで、今日の話し合いを行いました。</p>
-----------	--

全体統括

司会（戸田）	<p>どうもありがとうございました。以上で、3つの発表をいただきましたけども、私も各市町村で都市計画マスタープランやワークショップに携わってきましたが、本当に皆さん、熱心な地域思いの方々がたくさん集まられている印象があり、ものすごくいい議論といたしますか、地域のことを良く分かったうえで、さらに深い話し合いに進まれている。特に、前回から今回にかけて、もっと深い話し合いになったと思っています。</p> <p>その中で、北条については、キャッチフレーズがバシッと一つに決まっ</p>
--------	--

たこともあります。特に話し合っていて、やはり市街化区域とそれ以外の地域で、今の地域の中でも意見や住民の方の視点が異なるということがあり、この辺の検討もすごく必要であり、また、加西の電力などの新しい視点も見ていただきました。

泉については、特に交通に関するお話が多く、交通拠点化の話や地域の交通の話も熱心に考えられているところが出てきていたのではないかと思います。

加西については、道の駅や新中学校の問題という箱物の話よりも、どちらかと言うと世代間交流、多様性だということの、先ほども言われた田舎であるにもかかわらず関係の希薄化が課題になっていることと、そういう変化を受け入れて更にチェンジしていくということで、チェンジをメインテーマにされるというお話がありました。

キャッチフレーズは曖昧なところもあるんですが、少しでも皆さんの言葉とか思いを計画に反映して、その地域、その住民の方の熱意などの爪痕を少しでも多く都市マスタープランに活かして作っていきたいと思っています。

本日はどうもありがとうございました。

以上

ワークシート（北条町）

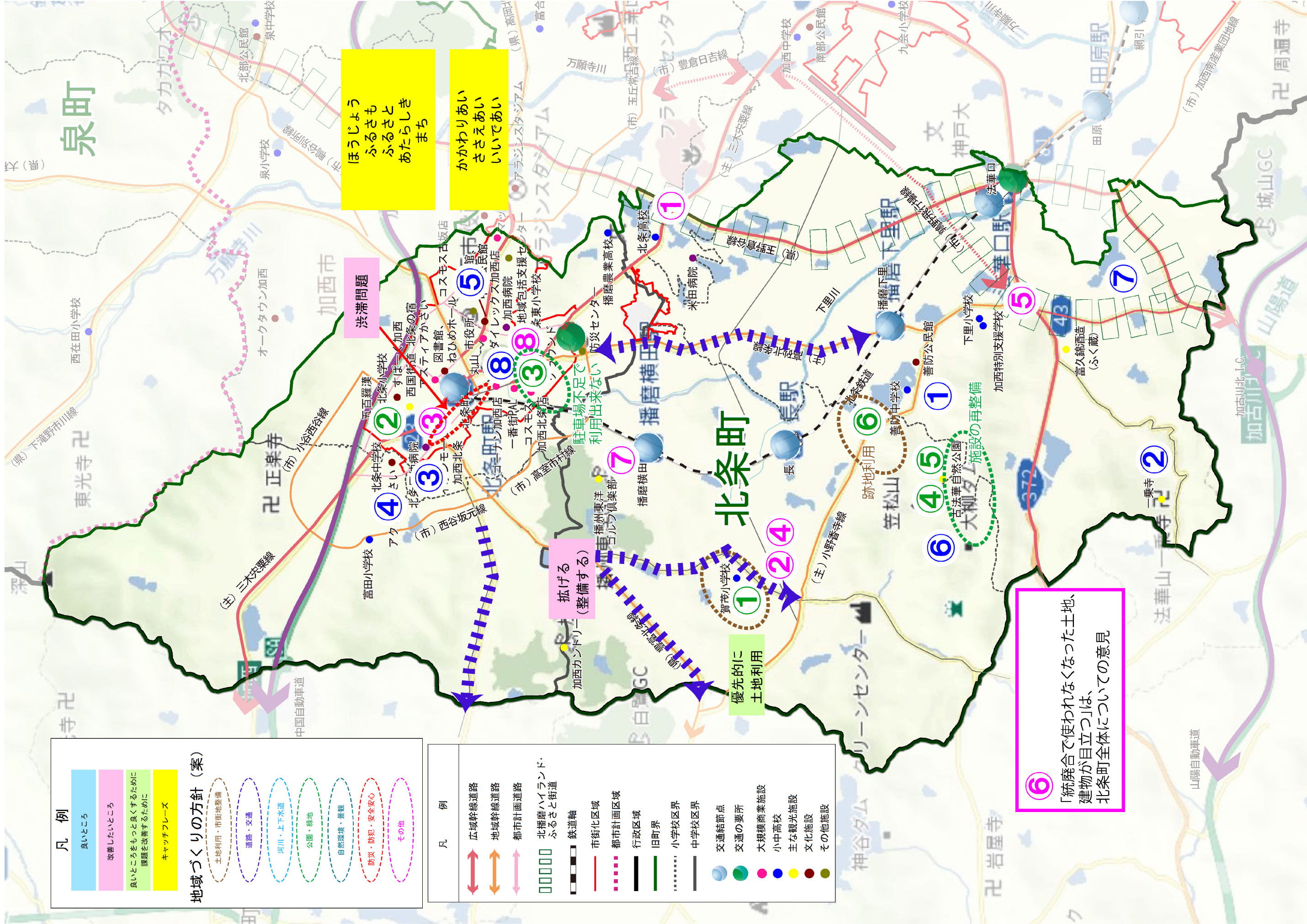
※枠付きの付箋は今回追加分

カテゴリー	地域の良いところ	地域の良いところをもっと良くするために～	地域の改善したいところ	地域の課題を改善するために～	地域の中で自分たちができること
土地利用 市街地整備	<p>生活施設</p> <p>生活に必要な施設が揃っている</p> <p>イベント</p> <p>旧市街地でのイベント③</p>	<p>商店</p> <p>コストコ</p> <p>専門店等、特色のある施設の誘致で活性化してほしい</p> <p>駐車場</p> <p>駐車場が欲しい（旧市街地）②</p>	<p>跡地利用</p> <p>統廃合で使わなくなった土地、建物が目立つ⑥</p> <p>農村公園を作ったが利用者が少ない⑦</p>	<p>農協の跡地に住宅、誘致をする① ←最優先で！</p> <p>廃校中学校の跡地利用⑥</p> <p>市街地区画内の未利用地の開発</p> <p>旧市街地→区画整理等大手術が必要</p> <p>古民家を使い（利用し）やすくしてほしい</p>	<p>空き家の所有者に働きかけて有効利用を考えさせる</p>
道路・交通	<p>北条鉄道がある</p>	<p>鉄道</p> <p>北条鉄道の切符をICOCAで買えるようにしてほしい</p>	<p>通学路</p> <p>北条鉄道の利用率が低い 通学路が狭い④</p> <p>北条高校への通学路の交通量が多いのに狭い（玉野倉谷線）①</p> <p>三口→下里小学校⑤ 旧市街地の道路が狭い 一方通行が多い③</p> <p>柏原建設から賀茂小学校までの道が登下校時、とても危ない②</p>	<p>市への改善要望</p> <p>自転車と車の住み分け（1）</p> <p>イオン周り、渋滞（2）</p> <p>市外に通じる県道等の整備 姫路方面、南北等</p>	<p>草刈り 清掃</p>
公園・緑地	<p>古法華自然公園キャンプ場</p> <p>丸山公園がある⑧</p>	<p>キャンプ場</p> <p>丸山公園で大きなイベントがしたい③</p> <p>キャンプサイトの整備⑤</p> <p>古法華自然公園キャンプ場を有料化してはどうか④</p>	<p>公園がない</p>	<p>様々な世代が楽しめる公園、体験ができる場所が欲しい</p>	
自然環境 景観	<p>善坊山→笠松山①</p> <p>法華山→乗寺②</p> <p>自然がいっぱい</p>		<p>太陽光発電</p> <p>太陽光⑨</p>	<p>可能区域の設定 ハウスや畑の上に太陽光パネル</p> <p>太陽光設備の割に電気代が安くなっていない。市民は安くしてほしい</p>	<p>各集落内で山林の農地の取扱いについて意見を共有する</p>
防災	<p>消防団</p> <p>各地区に消防団がある</p>		<p>個々の危機感がない</p> <p>特に大きな災害がないため、いざという対応ができない</p> <p>消防団の高齢化</p>	<p>消防団</p> <p>消防団を入りやすくする</p> <p>女性消防団</p> <p>交流を目的とした防災訓練があると参加しやすく交流を持ちやすい</p>	<p>町の改善する場所をするための宝探的なゲーム 「加西電力」電力の地産地消</p> <p>ゲーム感覚で町をきれいにするウォークラリー</p>
その他	<p>祭り</p> <p>節句まつり④ 加西サイサイまつり⑤</p> <p>大きな土地がある⑥ 特産のぶどうの販売が盛ん⑦</p> <p>農地など子供達が手伝えば充実して仕事ができる場所が多い</p>	<p>自分の持ち物だから自分だけが担う必要があると思わず、世代間、地域間で交流したら農地活性すると思う</p> <p>ぶどうの特産を生かして加西だけのお土産を作り、誰もが知っているものを作る</p> <p>豊岡市のように、特徴のある学校を誘致してほしい</p>	<p>多世代交流の場として地域食堂（こども食堂）が出来る場所があれば良い</p>	<p>多世代交流</p> <p>3世代運動会</p> <p>3世代交流（防災、高齢化、孤独がなくなる）</p> <p>縦のつながりができるように世代間交流が欲しい</p> <p>困り感のある親や子たちが集まる場所が欲しい</p>	

地域のキャッチフレーズ

ほうじょう
ふるさも
ふるさと
あたらしき
まち

かかわりあい
ささえあい
いいであい



凡 例	
良いところ	改善したいところ
良いところをもっと良くするために課題を改善するために	キャッチフレーズ

地域づくりの方針 (案)

土地利用・市街地整備	道路・交通
公園・緑地	河川・上下水道
自然環境・景観	防災・防犯・安全安心
その他	

凡 例	
広域幹線道路	北播磨ハイランド・ふるさと街道
地域幹線道路	鉄道軸
都市計画道路	市街化区域
	都市計画区域
	行政区域
	旧町界
	小学校区界
	中学校区界
交通結節点	交通の要所
大規模商業施設	小中高校
主な観光施設	文化施設
その他施設	

6 「統廃合で使われなくなった土地、建物が目立つ」は、北条町全体についての意見

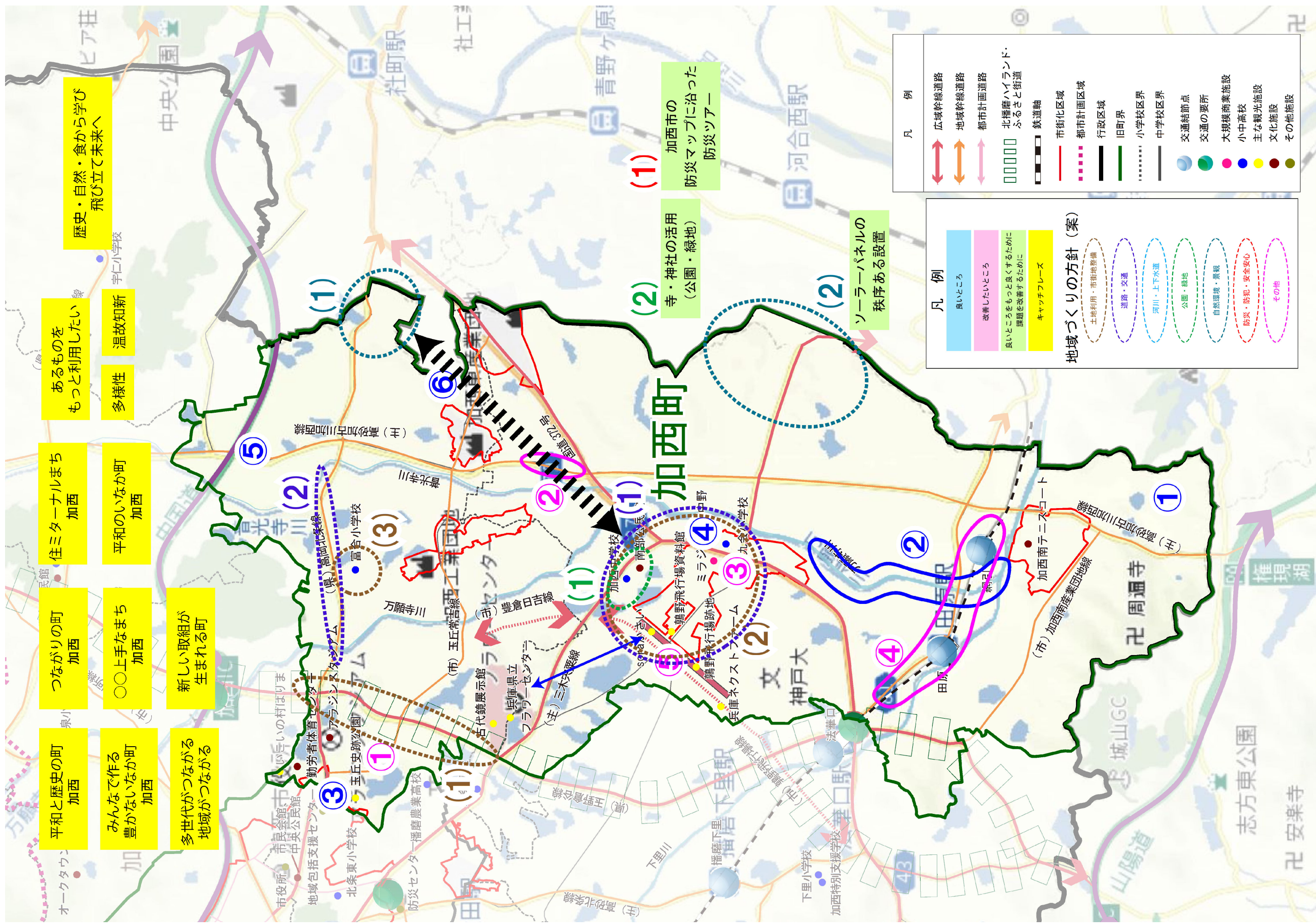
ワークシート（加西町）

※枠付きの付箋は今回追加分

カテゴリー	地域の良いところ	地域の良いところをもっと良くするために～	地域の改善したいところ	地域の課題を改善するために～	地域の中で自分たちができること
土地利用 市街地整備	市街地の土地利用ができた（中野町）④	小さい北条にならないような開発を 飲食店の誘致、住宅地の開発（2） 個人の店舗が入れるようなテナント（中野の再開発）（2） 新中学校を地域交流の場にする（1）	空き家 空き家から廃墟になる対策がない まだまだ利用できる状態の空き家の増加 農地 農地の再整備がしたい 飛行場の有効利用⑤ 富合会館の改修・整備	既存ストックの利活用 飛行場の観光だけでない利活用（2） 空き家の利活用を所有者にもっと話してほしい 富合会館を富合地区の憩いの場とする（3） 空き家+田んぼ付きの家がある（田んぼが嫌われているので空き家がそのまま） 神姫バス北条営業所周辺の開発 道の駅+遊べる施設の設置（公園）	空き家案内活用 要望し続ける チャレンジしたい人へのフォロー 米作だけでなくハウス野菜作り
道路・交通	地域間連携が容易 隣接市から神戸に行ける 小野市、加古川市、姫路市に行きやすい（車があれば） 大きい道路が通っている 中国自動車道が利用しやすい⑤	人と車が集まる広場 人も車も集まれる広場（中心が駐車場ではない）（1）	整備 西村医院の交差点③ 東西・南北の大きな道路整備 富合小学校の前の道路が狭い 脱！マイカーがないと生活できない町 ねっぴ～号の便数が少ない 自転車での移動に適していない②	歩道整備 都会の方の田舎体験の宿としたい（富合会館）（2） 歩道に幅をもたせる、歩行に補助、通学時の安全 歩ける町、歩きたくなる町 地域と鉄道の連携 玉野ローソン前の交差点の右折レーンが狭い	
公園・緑地	遊び場 玉丘古墳が子供たちの良い遊び場になっている③	寺、神社の活用（2）	体育館 体育館が小さい 大きい体育館が欲しい 玉丘古墳の駐車場が狭い①	体育館の新設・利活用 新体育館の建設 中学校の統廃合後の体育館の利用 加西中跡地の利活用	
自然環境 景観	自然 あびき湿原① のどかでサイクリングが楽しめる② 溜め池等自然が多い田園都市 歴史 第一次、第二次世界大戦の戦争遺産が存在する⑥ 歴史遺跡遺産が多い 鶉野飛行場戦争遺跡	観光マップを作る 第一次世界大戦遺産→青野原収容所の整備・PR（1） どんな道があるかPR・発信する 歴史をめぐるコース（歩き・自転車）と飲会・ホテル		青野原収容所の当時の建物の再現（市が保管している）（1） ソーラーパネルの景観が悪い（2）	加西町観光地 SNSなどで見どころを紹介
防災	風水害等の自然災害が少ない平穏な地域		危機感を持つ、平穏な地に住んでいるため平和ボケしている	加西市の防災マップに沿った防災ツアー（1）	消防団員の勧誘 女性も防災に関心を持つように発信していく
その他	農業 ぶどう 農家さんも頑張っておられる方が多い 寛容な地域 地域（村）に対してポジティブ 外からの人、情報に寛容 人口は加西市でも多いほうだと思う	人と人が繋がっていけばもっと魅力的な町になる 農家さんが個々ではなく全体的につながるとよい	少子化 子供の減少 住民の減少子供がいない 鉄道を撮りに来る人に対するの商売④ 地域でのコミュニティの欠落 役職リーダー不足 閉鎖的な面がまだ強い	世代間交流の場の創出 世代間の交流の場を作っていく 交流の場を作る 専門的な病院の誘致	あいさつを自分からする ふるさと創造会議にもこの11として、寺子屋、おもちゃライブラリーを計画している（10月から行う） 地域の魅力再発見 ふるさと創造会議の中で子供たちへの色々な体験学習をしてもらう事業の計画 移住・起業の成功事例になる 移住希望者の受け入れ

地域のキャッチフレーズ

平和と歴史の町 加西 みんなで作る豊かないなか町 加西 多世代がつながる地域が広がる つながりの町 加西 ○○上手なまち 加西 新しい取組が生まれる町 住ミターナルまち 加西 平和のいなか町 加西 あるものをもっと利用したい 歴史・自然・食から学び飛びたて未来へ
 多様性 温故知新



平和と歴史の町
加西

みんなで作る
豊かないな町
加西

多世代がつながる
地域が広がる

つながりの町
加西

〇〇上手なまち
加西

新しい取組が
生まれる町

住ミターナルまち
加西

平和のいな町
加西

あるものをもっと
利用したい

多様性

温故知新

歴史・自然・食から学び
飛び立て未来へ

(1) 加西市の
防災マップに沿った
防災ツアー

(2) 寺・神社の活用
(公園・緑地)

(2) ソーラーパネルの
秩序ある設置

凡	例
↔	広域幹線道路
↔	地域幹線道路
↔	都市計画道路
□□□□	北播磨ハイランド・ふるさと街道
—	鉄道軸
—	市街化区域
—	都市計画区域
—	行政区
—	旧町界
—	小学校区界
—	中学校区界
●	交通結節点
●	交通の要所
●	大規模商業施設
●	小中高校
●	主な観光施設
●	文化施設
●	その他施設

凡	例
■	良いところ
■	改善したいところ
■	良いところをもっと良くするために課題を改善するために
■	キャッチフレーズ

地域づくりの方針 (案)

- 土地利用・市街地整備
- 道路・交通
- 河川・上下水道
- 公園・緑地
- 自然環境・景観
- 防災・防犯・安全安心
- その他

ワークシート（泉町）

※枠付きの付箋は今回追加分

カテゴリー	地域の良いところ	地域の良いところをもっと良くするために～	地域の改善したいところ	地域の課題を改善するために～	地域の中で自分たちができること
土地利用 市街地整備	<p>特別指定区域・定住促進</p> <p>特別指定区域の制度活用（宇仁） 新規居住者の地区がある（宇仁）②</p> <p>空き家対策の取組み（宇仁）③ インター付近産業団地①</p>	<p>(A)</p> <p>さらなる規制の緩和による定住、促進 制度の理解を進める（土地利用） 新規居住者就農者の声を聴く</p>	<p>区域指定が住宅地の間にある 住宅地の整備（自治区）①</p> <p>若い世代が移住しにくい</p> <p>観光利用 放棄田が多い</p> <p>集落内の道路が狭い 店舗等の開発がしにくい 家が建てにくい 山の整備 田畑の再整備</p>	<p>区域指定の方法を変える</p> <p>貸したいと思える仕組みづくり すぐに借りられる家があれば良い</p> <p>放棄田の有効活用</p>	<p>町内単位での空き家情報を集める</p> <p>官主導でのヒアリング 村単位での意見の集約 ⇒広域へ</p>
道路・交通	<p>便利な交通</p> <p>地域主体型バス交通の取組み（宇仁） インターチェンジが近い</p>	<p>地域一体で連携したバス運営 直接北条に行くバス</p> <p>バスよりタクシー？ 直接、加古川に行くバス</p>	<p>道路幅が狭く、大型車の通行量が多い② 市道が痛んでいる② 歩道があまりない 小、中通路の整備④ 釜坂トンネルの実現③</p> <p>道路の両側の草の処理で良い方法はないものか？ 高速バスの本数が少ない 車以外の交通手段がない</p>	<p>計画的な道路整備 (C) 道路整備について少しずつでも良いので 予算の枠をとって実現してほしい</p>	
公園・緑地	<p>はりま中央公園④</p>	<p>地域の公園 よつば子供園付近に公園を作る①</p>	<p>家族等で安心して遊べる公園がない</p>		
自然環境 景観	<p>観光</p> <p>ホテルが見えて夏は涼しい⑤ 自然豊か</p>	<p>ホテル観光のための車を止める所や サイン、ルール決め②</p>	<p>害獣（畑や田んぼ） 太陽光による景観の悪化</p>	<p>太陽光 太陽光への規制強化 太陽光のさらなる規制、山などの斜面地</p>	
防災	<p>消防団の維持</p> <p>消防団 泉は災害が少ない 家の周りが顔見知り</p>	<p>消防団の負担を減らす、合併 若い人の加入促進の意識付け</p>	<p>防災 災害時避難場所 防災備品倉庫がない いつ災害が起こるか分からない</p>	<p>防災にも関わる 備蓄倉庫を建てる (D)</p>	
その他				<p>活性化のきっかけに 花畑街道・コスモス祭りの活性化（宇仁） 田谷開拓パイロット 新規就農者（宇仁）</p>	

地域のキャッチフレーズ

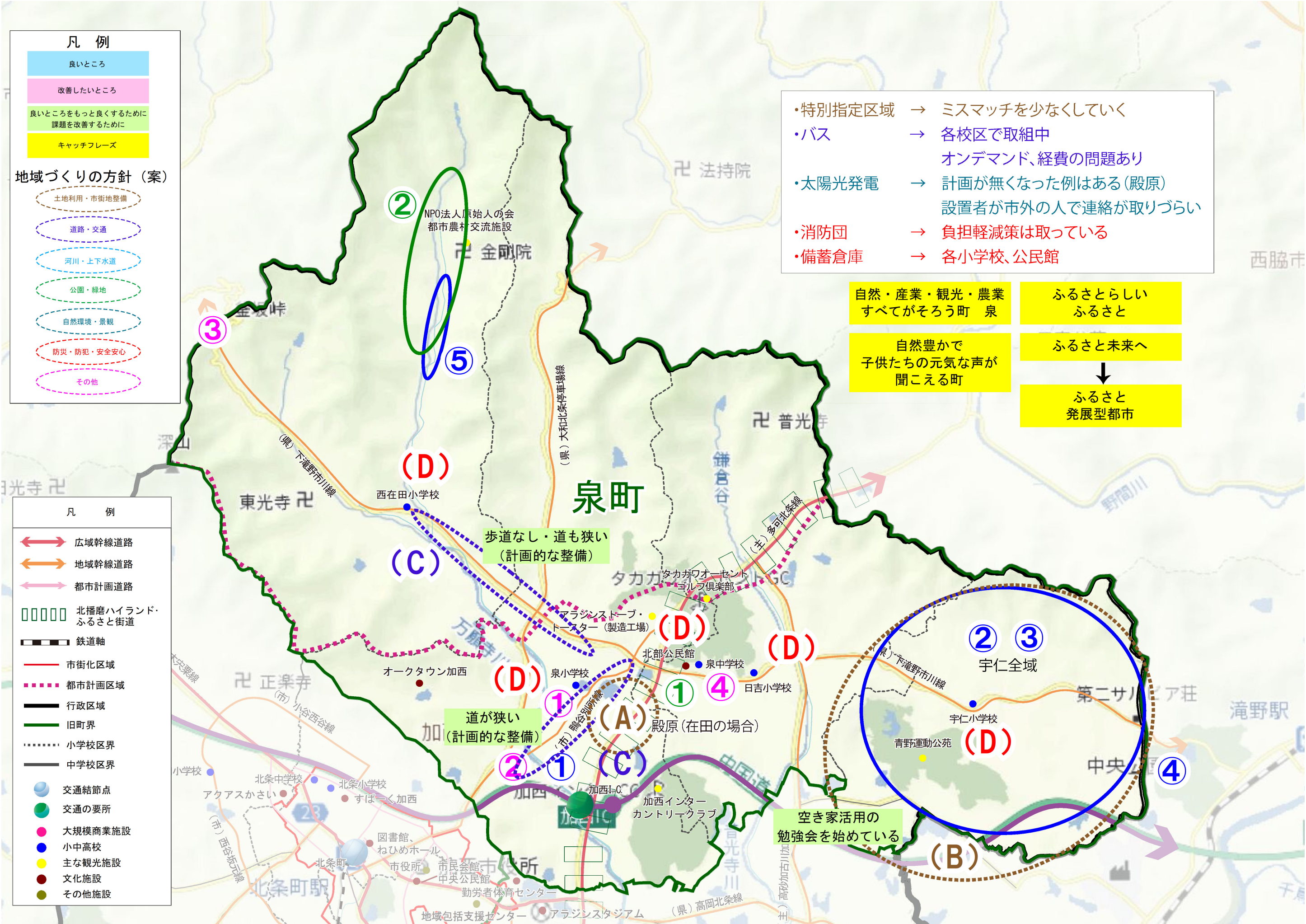
自然・産業・観光・農業
すべてがそろった町 泉

自然豊かで
子供たちの元気な声が
聞こえる町

ふるさとらしい
ふるさと

ふるさと
未来へ

ふるさと
発展型都市



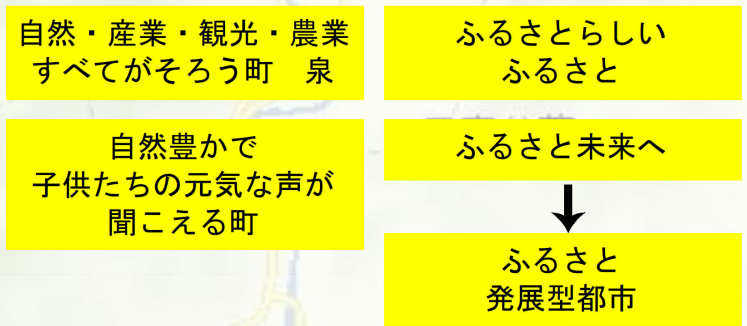
凡例

- 良いところ
- 改善したいところ
- 良いところをもっと良くするために課題を改善するために
- キャッチフレーズ

地域づくりの方針（案）

- 土地利用・市街地整備
- 道路・交通
- 河川・上下水道
- 公園・緑地
- 自然環境・景観
- 防災・防犯・安全安心
- その他

- ・特別指定区域 → ミスマッチを少なくしていく
- ・バス → 各校区で取組中
オンデマンド、経費の問題あり
- ・太陽光発電 → 計画が無くなった例はある（殿原）
設置者が市外の人で連絡が取りづらい
- ・消防団 → 負担軽減策は取っている
- ・備蓄倉庫 → 各小学校、公民館



凡例

- ↔ 広域幹線道路
- ↔ 地域幹線道路
- ↔ 都市計画道路
- 北播磨ハイランド・ふるさと街道
- 鉄道軸
- 市街化区域
- 都市計画区域
- 行政区域
- 旧町界
- 小学校区界
- 中学校区界
- 交通結節点
- 交通の要所
- 大規模商業施設
- 小中高校
- 主な観光施設
- 文化施設
- その他施設

(D)

(C)

(D)

(D)

(A)

(D)

(D)

(D)

② ③

宇仁全域

(D)

④

歩道なし・道も狭い
(計画的な整備)

道が狭い
(計画的な整備)

空き家活用の
勉強会を始めている